

議会だより

あやがわ



2019

No. 53

令和元年7月22日
香川県綾川町

主基斎田 お田植まつり104 (6月16日)

定例会・審議結果	2~3P
委員会報告	4~7P
一般質問	8~15P
お田植まつり	16P



綾川町議会ホームページ

6月定例会

綾南中学校体育館の 改修工事に8910万円

6月定例会は6月10日から14日の会期で開催した。

提案された議案6件と(株)綾南プラザ決算等の報告5件について提案理由の説明がなされ、関係常任委員会に議案を付託した。また、一般質問には8議員が登壇した。

11、12日に各常任委員会を開催し、付託された議案を審議した。14日に本会議を再開して各常任委員会からの報告を行い、追加議案1件を含め、原案どおり可決し閉会した。

工事請負契約の締結

●陶小学校トイレ改修工事 (建築)

契約金額 (消費税込)

5126万円

契約者

富士建設(株)

代表取締役 真鍋有紀子

工期

令和元年6月14日

～令和元年12月27日

●羽床小学校調理場ドライ化改修工事 (建築)

契約金額 (消費税込)

5423万円

契約者

(株)高岸工務店

代表取締役 松木 良太

工期

令和元年6月14日

～令和元年10月31日

●綾南中学校体育館改修工事

契約金額 (消費税込)

8910万円

契約者

谷口建設興業(株)

代表取締役 谷口 邦彦

工期

令和元年6月14日

～令和2年1月31日

物品売買契約の締結

●デジタル防災行政無線整備事業

契約金額 (消費税込)

1億5714万円

契約者

パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)四国社

社長 野津 純一

●羽床小学校調理場厨房機器購入事業

契約金額 (消費税込)

2255万円

契約者

四国厨房器製造(株)

代表取締役 片岡 敦子

事業期間

令和元年6月14日

～令和元年10月31日

財産処分

1. 土地の所在

綾川町西分字山ノ上

乙748番43外1筆

地目 山林

面積 10万2742㎡

2. 立木の所在

綾川町西分字山ノ上

乙748番43

樹種 ヒノキ

材積 1757㎡

3. 処分の目的

普通財産売却申請による

財産処分

4. 処分予定金額 (消費税込)

4678万4540円

5. 処分の相手方

(株)富士クリーン

代表取締役 馬場 一雄



改修工事中の綾南中学校体育館

主な内容

- 地方税法の一部改正による町長の専決処分事項の報告
 - ・ 個人町民税の非課税範囲に、単身児童扶養者を追加。
 - ・ 軽自動車税の環境性能割の非課税措置及び税率を1%とする臨時的軽減の規定の新設。
 - ・ 国民健康保険税の課税限度額（医療分）を58万円から61万円に引き上げる改正。
 - ・ 国民健康保険税の軽減措置について、均等割・平等割の5割及び2割軽減の対象となる世帯の所得基準額を引き上げる改正。

工事請負契約の締結

● 山田保育所改修工事（建築）

契約金額（消費税込）
6413万円

契約者

富士建設株

代表取締役 真鍋有紀子

工期

平成31年4月25日
～ 令和2年3月19日

臨時会（4月25日）

■ 全会一致の議案

議案の内容	議決結果
町長の専決処分事項の報告（綾川町税条例の一部を改正する条例）	原案可決
町長の専決処分事項の報告（綾川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	〃
工事請負契約の締結（山田保育所改修工事（建築））	〃

6月定例会（6月10日～14日）

■ 全会一致の議案

議案の内容	議決結果
工事請負契約の締結（陶小学校トイレ改修工事（建築））	原案可決
工事請負契約の締結（羽床小学校調理場ドライ化改修工事（建築））	〃
工事請負契約の締結（綾南中学校体育館改修工事）	〃
物品売買契約の締結（デジタル防災行政無線整備事業）	〃
物品売買契約の締結（羽床小学校調理場厨房機器購入事業）	〃

■ 賛否が分かれた議案

議案の内容	議決結果
財産の処分について	原案可決 (常任委員会で賛成多数)

総務委員会

工事請負契約の締結について

綾川町立陶小学校トイレ改修工事（建築）

教室棟の児童用トイレ、管理棟のトイレの乾式化改修工事、多目的トイレの新設工事である。

問 8月の校区の夏祭り時の対応は。

答 プール・体育館・公民館のトイレで対応する。

綾川町立羽床小学校調理場ドライ化改修工事（建築）

調理場ドライ化改修工事である。

問 資材や労務単価はどのくらい上昇しているか。

答 昨年4月から、鉄筋で4〜6%、鋼材で5%、内装材の合板で1%ほど、労務単価は、作業員が2〜3%、上昇している。

綾川町立綾南中学校体育館改修工事



改修される陶小学校トイレ

アリーナ及びステージの床材の張り替え、出入口扉の改修、外壁改修及び玄関上テラス部分の防水改修工事である。

問 アリーナ及びステージのフローリング床が波打っている状態だが。

答 北側の敷居部分からの雨の吹き込みで波打っている部分がある。設計業者と協議し、より良い方法を考える。

物品売買契約について

綾川町デジタル防災行政無線（同報系）整備事業

戸別受信機9000台、アンテナ3000本の購入事業である。

問 アンケートから貸与数は実際には5000台から6000台と思われるが、今後どのような形で進めるのか。

答 現在でもアンケートが返ってきている状況である。戸別受信機は、公共機関等への配布も考えている。

問 戸別受信機に再放送専用ダイヤルの番号がわかるようにしては。

答 戸別受信機には録音機能が付いている。専用ダイヤルも設け、二重の対応を行う。

綾川町立羽床小学校調理場厨房機器購入事業

問 冷蔵庫は、移設するようだが、何年使用しているのか。

答 10年以内のものである。更新する機器は20年以上のものもある。

財産処分について

最終処分場の拡幅計画による土地の確保のため町有地の普通財産売却申請があった。
反対討論 水源地である長柄ダムの上流に処分場ができることを危惧している。

賛成討論 増設される処分地は遮断マットで漏水を防止し、処分地内の浸出水は浄化施設で浄化し、焼却施設の冷却水として再利用する循環型で、排水が西長柄

川に流れることはなく安全管理が適切に行われており、問題はない。

■採決の結果、賛成多数で承認した。

その他

○平成30年度綾川町教育委員会評価について

教育に関する事務の管理、執行状況の点検及び評価を行った。

意見 子どもの虐待は、表に出にくい。関係機関とのつながりを密に対応して欲しい。

答 十分に目を配りながら、事案が発生した場合、児童相談所へ通告するとともに、関係機関と連携を図っていく。

○その他

問 災害支援団員の確保が思うように進んでいない。対象者の条件を広げてはどうか。

答 大規模災害が発生した場合、経験年数を有した者を配置することにより、避難所運営で組織的な支援活動が可能となる。募集条件は維持し、募集の啓発を推進する。

厚生委員会

継続費繰越計算書

●平成30年度一般会計継続費
滝宮認定こども園（仮称）整備事業において、平成30年度継続費予算額4億9千6百万円のうち、2億2千7百万円を繰り越す。

繰越明許費繰越計算書

●平成30年度一般会計繰越明許費
プレミアム付商品券事業の192万1千円を繰り越す。

本年10月の消費税引上げによる、低所得者・子育て世帯の消費に与える影響の緩和及び消費の喚起・下支えのため、2万5千円のプレミアム付商品券を該当者に2万円で販売し、差額の5千円を町が補助する。住民税非課税者及び3歳未満の子育て世帯が該当になる。

マイナンバーカード普及事業

7月からタブレットを使った申請補助を行う。また校区

公民館や各種団体合等での出張申請補助を推進する。

問 今後、住民票等のコンビニ交付の導入を検討しては。

答 カードのメリットや安全性を周知し、カードが活用できる環境整備に努める。

豊島産業廃棄物処理

県より、追加調査で見つかった7tの廃棄物を、町内の施設で処理したい。

処理中の610tのうち、352tは焼却処理済み、8月頃までに残り258tと新たな7tも処理したい。

問 町内の施設で焼却処理した際の検査結果は。

答 施設の環境検査は、定期的に引っかけており、結果資料の報告を求めていく。

西分最終処分場盛土工事

埋立容量が少なくなってきたことから、堰堤を高上げする。約1万㎡の容量が確保できる見込みである。

問 1万㎡埋まるまで、どれくらいかかるのか。また満杯になった後はどうなるのか。

答 1年で、約2500㎡埋まるので、約4年である。全体容量は令和20年頃満杯になると想定。その後は地元・関係機関と協議しながら施設廃止を行う。

問 残渣の化学分析データは出ているか。また、ガス抜き管はガスが発生するのか。

答 西部クリーンセンターで定期的に確認している。ガス抜き管は、残渣からガスが発生する恐れがあるので、つぎ足して排気を行う。

産業廃棄物最終処分場拡張計画 「株式会社 富士クリーン」

地質調査、生活環境調査、県との協議、協議書作成、変更許可申請を令和3年度までに行い、工事着工となり、使用前検査、基準適合を経て、令和7年度の使用開始を見込んでいる。

綾川町買物弱者支援事業

綾上地区で移動スーパーを、1週間に5日間、1日6カ所程度で実施する。10月1日事業開始を目指して商工会に車両購入費を補助し、イオン綾川店が移動販売を実施していく。損失が出た場合は、町が折半する方向で協議をしている。

問 1日の販売予定は何人か。その試算で、月にどのくらいの赤字になるのか。

答 1日50人程度。概算で月に40万円の赤字が出た場合、20万円の補助になる。買物弱者の支援だが、近隣の人にも利用してもらいたい。
要望 販売日を広報で周知するなど、利用促進を考えて、極力赤字を減らすように。



他地域でイオンが実施している移動販売車

問 価格設定は、店頭と同額か。

答 同額でイオンの商品を販売する。

問 車両購入費を補助後、イオンが販売をやめたいという話が出たらどうするのか。

車両の準備を含め、契約等のスケジュールは。

答 車両償却の5年間は撤退しないことと協議している。事業開始に向けて、契約は6月中に行いたい。

陶保育所大規模改修工事

平成4年4月に開所し、老朽化が見られるので、本年度、改修に伴う実施設計業務を有限会社三島建築設計事務所と契約金額243万円で締結した。

各保育室、外壁・屋根塗装、ベランダ防水シート張替え、トイレの洋式化、照明器具のLED化、空調改修などを令和2年度で予定している。

問 調理場のドライ化は。

答 今回工事では考えていないが、今後、園児数の推

移を見極めて検討したい。

問 改修工事の期間及び弁当給食の時期は。

答 工事中は、保育を実施しながらとなるため、1年間を計画している。弁当給食はできる限り短くしたい。

問 その他の保育所の改修は。

答 昭和と滝宮保育所は新築工事であり、山田と陶保育所は大規模改修工事を実施及び計画している。羽床上保育所は平成20年度に、羽床保育所は平成22年度に外壁工事をそれぞれ実施している。その他に大規模な改修予定はない。

幼児教育無償化に伴う給食費等の取扱い

現在、3歳児以上の給食費は、1回分を240円と想定し、給食賄材料費1カ月4800円と主食費500円程度を徴収している。10月からは副食費4500円と主食費500円を徴収計画で、保護者負担が300円安くなる。

また、町独自施策の同時入所(園)2人目無償化や

第3子以降無償化は引き続き実施する。

問 消費税増税による負担増はないのか。

答 消費税が増税されても変更せず徴収できる。

給食材料についても学校給食会と協議し、質が落ちないよう安全で安心な給食に取り組んで行く。

その他

問 認知症予防対策として、町の健診等で、初期把握シートで簡易検査をし、早期発見につなげる取り組みを。

答 認知症対策で早期発見は有効である。現在は医師会にてチェックシートによる初期把握だけなので、今後は広げていきたい。

問 滝宮認定こども園(仮称)整備事業の、工事進捗状況は。

答 5月末で遅れている内容は6月に全体工程を見直し、12月26日の工期遵守を指示している。

建設経済委員会

平成30年度から今年度への繰越し事業(4件)について報告を受けた。

- 県営土地改良事業 8266万円
- 道の駅滝宮リニューアル事業(設計委託料) 2300万円

● 災害復旧事業(2件分) 1994万8千円

有限会社綾歌南部農業振興公社

決算等の報告を受けた。

問 加工品の販売を強化し、経営の安定化を図れないか。

答 道の駅滝宮との連携も視野に入れ努力したい。



リニューアル向け実施設計中の道の駅滝宮

株式会社綾南プラザ
(道の駅滝宮)

決算等の報告を受けた。

問 指定管理料や土地等の賃借料は適正であるか。

答 現在見直しを行っており、適正な金額となるよう精査する。

問 株主や取締役について、現在の構成のままでリニューアル後の経営に問題はなにか。

答 取締役は、持っているノウハウを綾南プラザの経営に活かすために選任されている。個々のテナントの経営方針にまで影響を及ぼすものではなく、問題はない。

道の駅滝宮、リニューアル
工事に伴う実施設計の進捗
状況

問 トイレの改修計画は。

答 既存のトイレ（国道近くのもの）は、国土交通省へ改修を要望している。また、施設内にも多目的トイレを整備する予定である。

問 バイク用の駐輪場や電気自動車の充電スタンドを設置するのにか。

答 今のところ考えていないが、可能なものについて今後検討する。

問 経営主体について将来的な考えは。

答 現在、指定管理者制度により株式会社綾南プラザが管理、運営を行っている。指定管理期間が満了する令和2年度末までは現状のままとなる。また、令和3年度以降は未定である。

その他

問 羽床下地区の基盤整備の進捗状況は。

答 平成30年度末で、進捗率は全体の32%である。綾川の右岸側はほぼ完了している。今年度から左岸側の整備に着手する。

問 通学路の草刈り等はどうしているのか。

答 県道や主要な町道は7月から8月にかけて、年1

回実施している。

それ以上の対応は繁茂の状況等を見て検討する。また県道は県に要望したい。

問 土木事業について、災害防止策の考えをどのように取り入れているのか。

答 町は急傾斜地崩壊防止対策事業を、また、県も砂防事業や河川改修事業を計画的に実施している。今後も引き続き取り組みたい。

問 町内宿泊施設について、外部に向けた情報提供の状況は。

答 個人が営む民泊施設について今後、情報発信に努めたい。

学校等再編整備
調査特別委員会

綾上中学校運営に関する
アンケート結果報告

2月実施の、綾上中学校運営に関するアンケート結果について報告があり、

「結果を踏まえ、学校や関係者に説明をし、今後の方向性を検討していく。」との説明があった。

問 保護者へのアンケート結果の報告はいつするのか。

答 できるだけ早く行う。

問 統合に賛成する意見が多かったが、小規模校のメリットもあり対応は。

答 保護者などの意見を聞きながら、進めて行く。

問 望ましいクラス数は3〜4学級が多く、統合したら5〜6学級になると思われるが、どうか。また、現状での部活動をどうやって運営するのか。

答 状況把握して、進めていく。また、学校外の活動についても、他校の状況を調査、研究していきたい。

問 部活動の合同活動や文化祭、音楽祭など行事を他校と合同で行うことも検討しては。

答 学校間での調整も含め、研究していく。



アンケート対象となった綾上中学校



香川用水に隣接する溜池（羽床上・下境界付近）



井上博道議員

防災対策上の溜池と水路管理のあり方は

地域ぐるみでの管理体制の研究を今後も重ねる

問

溜池や水路は、地震や大雨の時には甚大な災害の原因になる。自然災害を人災にしないためにも、防災対策上の溜池と水路管理のあり方についての本町の考えは。

答

農業者の高齢化等で、溜池や水路管理が難しくなっている。本町としては、各種補助事業を活用しながら、防災上危険な溜池の廃止等と共に、地元水利組合への適正管理指導等、地域ぐるみでの管理体制について、今後も研究を重ねていきたい。

問

溜池と水路の管理のあり方、町の管理責任の程度、適正管理啓蒙活動に関する考えと現状はどうか。

答

公共物の機能管理は、国から町に譲与された後も、受益者が行う原則は変わっていない。受益者には、土地改良事業補助制度等の活

用で適正管理をお願いしている。毎年の自治会長会における啓蒙活動で周知を図り、地元水利組合に対して指導と助言をしている。

問

溜池を埋める場合、香川県内外との協定上等からの障壁はあるのか無いのか。埋めたいが埋められない溜池が本町内にあるのか無いのか。また、溜池を埋めた理由は何か。

答

溜池を埋める場合、ため池の保全に関する条例による届出が必要。溜池の廃止は、他の池で水量が確保されていること等の条件を満たせば可能。本町内では、そういう事例の報告は来ていない。また、埋めたのは防災上危険だったためである。

問

溜池が決壊して、土砂、ビニールシート、木等が香川用水路を塞いだ場合、甚大な被害がある。香川用水路に致命的な悪影響を与える恐れのある溜池の有無を掌握しているか。対策の現状はどうか。

答

香川用水に致命的な悪影響を与える恐れのある溜池は7池あるが、いずれも改修済である。不法投棄された廃棄物等が水路を塞いで災害を引き起こす可能性がある溜池については、溜池管理者からの相談は受けていない。



10月から工事予定の道の駅滝宮



安藤利光議員

住宅改修費等の全額立て替え払いの改善を

他市町の状況をみて研究する

問 介護保険を使い住宅改修、福祉用具を購入する場合、利用者本人が事業者へ全額支払い、その後申請をするとの割合が保険給付分として返ってくる仕組みになっている。利用者からは、立て替え負担がないようにしてほしいとの要望が上がっている。住宅改修や福祉用具購入のサー

ビスを経済的負担の心配なく利用できる、「受領委任払い制度」の導入としては。

答 介護保険による住宅改修、福祉用具購入の給付サービスは、いったん全額を被保険者が負担し、その後町から9割、被保険者の所得に応じて8割または7割の払い戻しを受ける「償還払い方

式」である。「受領委託払い方式」は自己負担として1割、被保険者が所得に応じ、2割または3割を支払い、残りは町が業者に支払う方式である。利用者には、立替負担がなく有利であるが、介護保険給付方法の変更となるため今後他市町の状況を研究していきたい。

道の駅滝宮を活気ある地域づくりが進む施設に

「讃岐うどん発祥の町」をアピールしたい

問 四国にある道の駅は、地域の情報発信基地としての役目があり、その地域をアピールしている。道の駅滝宮を活気ある地域づくりが進む施設に。

また、施設は公設で行い、内装等は民間に任せるが、施設の特徴、工事計画等は。

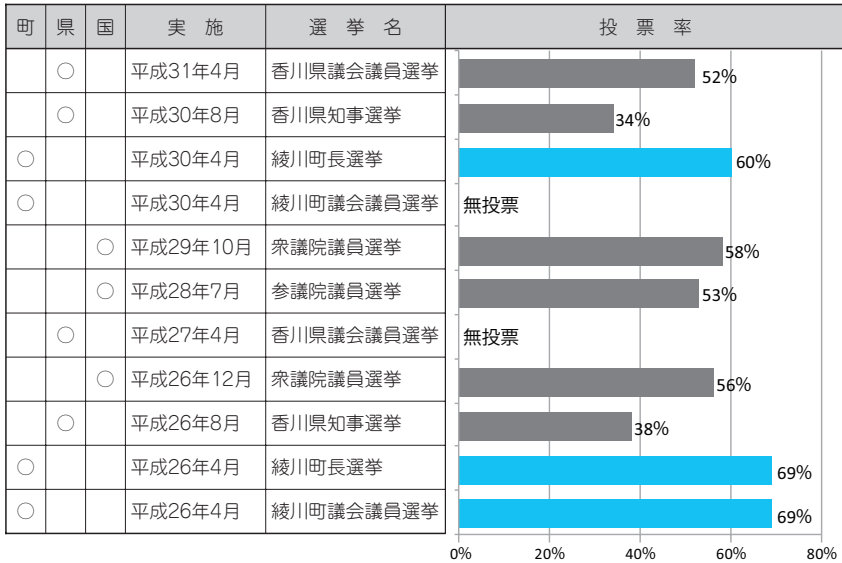
答 「道の駅滝宮・うどん会館」のリニューアル

は、基本設計に基づき実施設計を進めている。施設の外観は、建物等周辺の風景との融和に配慮したものにしていく。また、施設内容は、「讃岐うどん発祥の町」綾川町の特

色を出した「道の駅滝宮・うどん会館」としたい。食事や買い物ができる複合施設になる予定である。工期は10月から翌年3月完了をめざす。また、水路等は、地元水利組合と事前に協議していく。



松内広平議員



政治離れによって低下する投票率（綾川町）

投票率向上に向けた取り組みを

投票日の町営バス臨時運行と 中間投票率を1時間毎に公表する

問 今春、香川県議会議員選挙が行われ、綾川町での投票率は52・42%だった。この数字は高いか、それとも低い。決して高くない。

答 また、平成28年に選挙権年齢が引き下げられたが、県議選挙では18歳が34%、19歳が32%で、全体投票率をさらに引き下げている。政治離れを防ぎ、地域のみ

んなで考え、より活性化させるための、我が町として投票率向上に向けた取り組みは。

答 児童会や生徒会の選挙に投票箱や記載台を貸出し、啓発ポスターを募集している。昨年度は、農業経営高校で模擬投票を行った。また、SNSを活用した選挙啓発や、入場券の裏面を宣誓書にするなど、環境整備にも取

り組んできた。今後は7月予定の参議院議員選挙から、投票日当日に町営バスを臨時運行することで若年層だけでなく幅広い世代の投票機会の確保する。また中間投票率を1時間毎にHPやSNSにおいて公表することで、投票を呼びかけていく。

綾上支所の未利用部分の有効活用を

町全体で公共施設のあり方を検討していく

問 綾上支所は旧綾上町役場で、平成18年の合併以降は支所として各種サービスの提供を行っている。現在の職員は7名。施設内は、1階の一部および2階は大部分が未利用となっている。

答 全国でも多くの市町村が統合し、旧庁舎は支所機能のみ

ならず、利活用されている。建物の改装・改築費用はかかるが、長期的に見て、必ずや綾上地区を中心とした地域活性につながる。綾上支所の建物を有効活用しては。

答 国際交流事業や「いちえの会」等が利用している。今後、長柄ダム再開発

事業に伴う事務所としても、検討している。町全体で公共施設のあり方を検討していく必要があり、ご提案の内容も参考にしながら支所のあり方も含めて研究を進めていく。



福家利智子 議員

農泊の推進は

ホームページや広報紙に情報を掲載する

問 県では農泊の研修会やフォーラムを開催し、いわゆるグリーン・ツーリズムを積極的に推進している。観光客を農村へと呼びこむチャンス逃がさないよう、滞在時間の延長や観光消費の増大に向けて農泊の取組みを推進

答 県では農泊の研修会やフォーラムを開催し、いわゆるグリーン・ツーリズムを積極的に推進している。観光客を農村へと呼びこむチャンス逃がさないよう、滞在時間の延長や観光消費の増大に向けて農泊の取組みを推進

していくべきと考える。今後町はどのように。町内には、農家民宿が3軒である。今後は、県の担当課と連携を密にし、町のホームページや広報紙にもセミナーの開催情報や農泊に関する情報を掲載するなど、

かかりつけ医と陶病院の連携は

病床機能を生かした緩和ケアに対応する

問 厚労省では、高齢者の療養生活をしっかりと支えていくシステムを地域に築き、定着させていくことが基本で平成28年12月にがん対策基本法が改正され、緩和ケアについて定義された。またがん以外の体や心の痛みを和らげる病棟も必要になってくる。

答 今後の緩和ケア提供体制の充実。陶病院においては、高齢者の増加に伴って需要増が見込まれる回復期病床の必要性から、現在、一般病棟から地域包括ケア病棟10床への移行手続きをしている。今後の緩和ケア提供体制は、

がん等の不治の病を患った方に対する苦痛を除去することを目的に治療を行うが、陶病院としてできる病床機能を生かした緩和ケア、ターミナルケア、看取りケアなど、このようなケアに対応していく。



町内にある農家民宿



今後改装予定の綾上海洋センター



大野直樹議員

誰もが利用できるスポーツ施設の 見直しと環境整備について

施設に適したバリアフリー化を検討していく

問 東京パラリンピックは、困難があってもあきらめず、自分の限界を突破しようとするアスリートの姿から多様性を認め工夫をすれば誰もが同じスタートラインに立てる事を気づかせてくれる。

答 誰もが利用できる町内のスポーツ施設の見直しと環境整備についてどのように考えか。施設によっては、段差等があり身体障がい者の方や高齢者の方には、利用しにくい箇所もある。今後は、より多くの方々が利用できるよう施設に適したバリアフリー化の進め方を検討していく。

問 東京オリンピックピックを機に、日本において国民がスポーツに興味を持つ最大のチャンスであり、町内においても、町民誰もがスポーツを楽しめる環境を整えるチャンスである。本町らしさが満ち溢れた、綾川町版のスポーツ振興計画の策定はどのような考えか。

答 東京都府県及び市町村の教育委員会は、当該計画の策定に努めることとされている。本町においても、より多くの町民にスポーツに親しんでいただき、健康増進や地域の活性化を図るため、地方スポーツ推進計画の策定について準備を進めていく。

問 誰もが運動を楽しめる公園の設置・整備が必要と考ええる。池の埋め立て地を利用した公園整備を行うてはどうか。

答 町内には、総合運動公園や農村公園、児童公園など多くの公園が整備されている。町民には、地域住民の交流

問 防災・健康増進・交流の観点からも公園の役割は、今後のまちづくり（移住定住）になくてはならないものである。

答 昨年度実施した「第2期子ども・子育て支援事業計画に關わるニーズ調査」の中でも、親子で楽しめる簡単な遊具の設置や親子で休憩できるベンチの設置、トイレ整備等「遊び場の充実」を挙げた意見が多く見られた。町としても「誰もが楽しめる公園の整備」は必要だと考えている。まずは既存公園の環境整備をより一層図り、新規の公園整備についても町有地等を有効活用できるかどうか検討しつつ、公園施設等の整備を図っていく。



障がい者に向けた防災ハンドブック



命を守るAED



十河茂広議員

障がい者のための防災手引きは

障がいに応じたハンドブックを研究・検討する

問 災害時の障がい者への支援を充実させるための備えや、避難行動の仕方、サポート方法など、障がい者に特化した防災ハンドブックが必要でないか。

答 平成28年度に、県聴覚障害者協会からの要望

を受けて、平成29年度に自助である聴覚障害者向けの「聴覚障害者のための防災ハンドブック」と、共助である支援者向けの「災害時に誰にでもできる聴覚障害者への配慮」のハンドブックを作成している。しかしながら、視覚、肢

体、内部、知的、精神障害などのハンドブックは作成ができていない。それぞれの障害に応じた「防災と支援」の分かりやすいハンドブックも今後、研究・検討していく。

学校での心肺蘇生教育を推進しては

「命の尊厳」「助け合いの心」を育てていく

問 毎年7万人、一日に平均すると200人に及ぶ方が心臓突然死で亡くなっている。学校でも毎年100名近くの児童生徒の心停止が発生している。AEDの心肺蘇生教育を行っている学校は、平成27年度実績で小学校41%、中学校28%、高等学校27・1%と非常に低い状況にある。町においても、児童生徒、教職員、

スポーツ少年団指導者に対する心肺蘇生とAEDに関する教育、普及推進が必要でないか。

答 本町においては、学校

での心肺停止となる重大事故は発生していない。中学2年生を対象に、保健体育の授業で「心肺蘇生法」、「AED操作方法」を学習し、実技指導を取り入れた講習も行っている。小学校では、高学年

の保健体育の授業で、「事故やけが人を発見した際、大人への助けの求め方」、「AEDの活用」などについて指導している。家庭教育学級などの際に、保護者が児童とともに、AEDの使用方法の実技講習を実施している学校もある。今後、児童生徒、学校、家庭が協力連携して取り組んでいく。



議員 東 曜 三



献眼ドナーを常時募集している香川アイバンク

急増する外国人居住者への対応は

多言語翻訳の「ごみカレンダー」の作成をする

問 本年4月1日から新たに特定技能実習生の受け入れが始まり、受け入れ見込みは5年間で最大34万5150人。県でも1500人程増加の予想。本町も「外国人が生活・滞在する上での課題」に先手をつけて、トラブルを未然に防がなくてはならない。どのように取り組んでいるのか。

ナム118名、中国75名、フィリピン41名など24ヶ国。在留資格の多くは、技能実習。町としての取り組みは外国人コミュニティのための日本語教室の開催や児童家庭相談員による外国人親子に寄り添った子育ての支援を行っている。

答 令和元年5月現在で334名の外国人が住民登録をしている。国籍別ではベトナム

問 今後の取り組みは。
答 本年、多言語翻訳の「ごみカレンダー」を

作成をする。香川県防災情報システム」の多言語翻訳にベトナム語を追加するように要望する。町営バスの車内表示の他言語化を検討する。

要望 役場に外国人対応窓口を設置し、英語話者の職員は見えるようにしてほしい。SDGs（国連の持続可能な開発目標）の16を意識して。

献眼、献腎、献毛の啓蒙・啓発について

取り組んでいく

問 献眼、献腎はドナーがどちらも全然足りていない。町からもドナーの登録を促すように働きかけて欲しい。現在、世界には1500億ドルの人身売買の市場がある。国内のドナー不足は海外

の不法な臓器売買を助長する。献毛であるヘアドネーションは気軽に出来る社会貢献。こうした身の回りでできる貢献活動は私たちの心を「思いやり、助け合い」の方向に向け心を育てる。福祉の町にな

れるよう、本町でも啓蒙啓発に取り組んでほしい。
答 普及啓発について教育委員会等を通じて学校関係、また各種団体と連携しながら取り組んでいく。



ITを活用した授業風景



川崎 泰史 議員

遠隔授業による可能性は

ICT環境を整備し研究推進をしていく

問 教員の配置について、現在、教員の数に足りていない。複数のクラスで同時に授業を行い、専科教員等の人材を有効活用できるが、遠隔授業のメリット・デメリットは。

答 教員配置が十分でないことは課題。メリットは、情報の発信・受信や外部人材の有効活用により、児童生徒が専門的で多様な意見に触れ、様々な体験を積む機会ができ、教育活動の幅が広がる。デメリットは、学校間のICT環境の整備、教員のスキルアップや各学校での遠隔授業を指導できる教員の確保、学校間の授業進度の調整などが考えられる。

問 外部との遠隔授業の実施について、姉妹町の秩父別町や、交流提携を結んだ岡崎市との連携授業、海外との連携等が考えられる。企画・調査・プレゼンテーションの

一連の流れを、外部との連携により磨き、今後は世界との直接競争にさらされる子ども達の実力を町は担保していく必要がある。教育長の見解は。

答 アクティブ・ラーニング教育は、児童生徒の多様性、創造性を養うため取り組んでいる。これを外部との遠隔授業で推進することは、変化の激しい社会を生き抜く力を育むことができる。期待される。環境整備と学校現場の実情を把握して研究する。

問 コストと実現性について、遠隔授業向けのソフトウェアは無料で学校設置のPCで、追加投資無しで実施できる。指導者のスキルと許容する体制の問題だが実施に許可を出さないのか。

答 課題は教員の対応能力で、教員のスキルアップを図り、ICT環境を整え、実施に向けて検討する。進化

を続けるIT、AI社会に町として、対応できる人材育成や教育環境の整備に努める。

問 本町では、英語、プログラミング教育を国に先んじて授業を展開している。遠隔授業に対しても環境はほぼ整っているため、指導者のスキル次第で全く問題なく実施できる。試行実施の考えは。

答 情報化推進委員会の中で遠隔授業について研究し、推進したい。出来る限りの試行も含めて検討する。



「齋田ゆかりの地」提携 綾川町と愛知・岡崎市

大正天皇即位の^{だいしょうさい}大嘗祭で、「主基^{すき}齋田」「悠紀^{ゆき}齋田」にそれぞれに選ばれた綾川町と愛知県岡崎市が6月2日、同市内で「齋田ゆかりの地・交流提携」を締結した。両齋田保存会の交流が今年で30周年を迎えた節目の提携で、今後稲作文化の伝承活動や観光・物産での協力を提携する。



悠紀齋田お田植え祭りで、岡崎市内の小
学生と交流を深めた綾上小学校の児童
(岡崎市内)

主基齋田お田植まつり (6月16日)



山田上の主基齋田跡地にて、小林悠紀齋田保存会長ら多数を迎えて、主基齋田お田植まつりが行われた。綾上小学校の児童が苗を渡し、県立農業経営高校の生徒が早乙女姿でのお田植えを行った。

議会広報編集委員会

委員長 安藤 利光
副委員長 西村 宣之
委員 三好 東 宣之
委員 松内 広平
委員 十河 茂 広
委員 植田 誠 司
委員 三好 重 徳
委員 井上 博 道

編集後記

新しい時代、令和に入り初めての議会でした。議案6件、報告5件を、各常任委員会にて慎重審議し、本会議にて可決・承認しました。また、6月に愛知県岡崎市と交流提携を結び、新たな歴史の1ページを加えました。いよいよ夏本番を迎えます。体調管理に十分お気をつけ下さい。

新しい時代も、町民の負託に答えられるように、議員一同努力をしております。今後とも、議会だよりのより一層のご愛読をお願いいたします。